

茨城県剣道連盟 医学委員会「アンチドーピング」講義、アンケート内容検討

日時：2020年5月4日（月祝）15:00～

参加：林 明人、倉持利夫、石原明、川嶋久恵、新澤 岳、藤田 聡、北沢真理子

茨城県剣道連盟：早乙女事務局長

書記：草山美和子

議題：・林先生による「アンチドーピング」講義

・アンケート調査について

#### 【林先生による「アンチドーピング」講義】

- ・日本スポーツ協会からガイド（2020年度版）が発行されている。
- ・剣道でアンチドーピングがあるのは、全日本と国体。
- ・出場停止処分は4年→選手生命にも関わってくる。
- ・「知らないで飲んでしまった」もダメ
- ・基礎疾患のある人は、TUE（医師の証明書）を前もって提出していればOK

#### 【アンケート調査について】

緊急事態宣言が5月末まで継続される

剣道は宣言解除後もしばらく休止になるのではないか

5月6日に実施ならコロナウイルスなど、質問の内容も変わってくる

#### ●実施対象

- ・今回は大人に絞る（茨城県剣道連盟に登録の成人は2,000人ほど）
- ・小学生はスポーツ少年団、中高生は中体連や高体連に依頼するのがいいと思うが、活動がない現況下では困難。
- ・しかし道場などでアンケートを受け取った小中高校生が回答してくれるならこれを妨げない。

#### ●配布方法

- ・県剣連のホームページからダウンロードできるようにする。  
（対象は茨城県剣道連盟会員と明記）  
（紙面で配布のアンケートに「県剣連 HP からもダウンロードできる」旨を明記）
- ・地区連の会長にお願いとアンケートを封書で送付。
- ・上記2件を平行して行い、アンケートの回収先は県剣連事務局とする。
- ・道場連盟に依頼するという手段もある。
- ・高齢剣には封書で、各職域剣連、大学などにも依頼を発送する。

#### ●回収率

- ・通常のアンケートの回収率は高くても 50%程度。
- ・新型コロナウイルスについてのアンケートをする意義を考えると回収率が 30%くらいでもいいかもしれない。
- ・アンケート配布時のお願いに、最低限期待する回収率を地区連の会長に伝えてもいいのではないかな。

## ●集計

- ・各地区連でまとめてもらおうとすると、集計者に個人が特定されるおそれがある。
- ・医学委員会で手分けしてやるしかないのではないかな。

## ●回収

- ・回収は茨城県剣道連盟事務局に一本化する。
- ・アンケートの冒頭に県剣連の FAX 番号、メールアドレスを載せ、どちらに回答していただいてもけっこうですと明記する。

## ●内容について

### 1. あなたの剣道歴や背景について

- ・個人が特定できないようにする。
- ・体重は女性が記入しづらいため、削除。
- ・アンケート依頼の文書にアンケートの目的をもう少し詳しく説明する。趨勢を把握して、医学委員会がそれを剣道の安全や疾病の予防活動に展開していくことを明らかにしておいた方がいい。

### 2. 喫煙の有無について

- ・喫煙と一緒に飲酒は掲載しない。

### 3. 新型コロナウイルスに関連して稽古が制限される前後での稽古回数について

### 4. 新型コロナウイルスに関連して稽古が制限された後の心身の変化は？

- ・新型コロナウイルスについての調査結果を何に繋げていくのかを明示し、シンプルな質問にするのがよい。
- ・この時期に実行するアンケートだから意義がある。  
(アンケート調査とは別に)
- ・大阪府や神奈川県は県剣連の会長や県の先生方のメッセージを動画で配信している。
- ・茨城県でもできないかな。
- ・動画はすぐには無理だが、メッセージを文書で掲載することは可能。

## 5. 過去に経験した剣道に関連した傷害（ケガ）や病気について

- ・傷害と障害の区別は、整形外科では  
急性：外傷（傷害）、慢性：スポーツ障害  
だが、このアンケートでは救急ハンドブックなどに従い「急性障害」「慢性障害」とする。
- ・剣道をしていない医師の診断した病名が確実とは限らない。また区別もつけにくいので、痛い部位を報告してもらい、診察を受けた人は病名を書いてもらう。
- ・「過去から現在までに」という質問に変更する。
- ・貧血を追加。
- ・疾病→病気  
腫脹→腫れ に変更。

## 6. 現在ある障害・疾病（病気）について

- ・大部分を 5. 慢性疾患に移動し、欄を縮小。

## 7. 剣道難聴について

## 8. 救急処置法や応急処置、アンチ・ドーピングについて

異論なし

### ●実施時期

- ・緊急事態宣言下で行うからこそ、自分の剣道を見直すきっかけも含めて意義がある。
- ・5月末の医学委員会で承認を得て、6～7月に実施。

#### 【県剣連の救急箱について】

- ・救急ハンドブックに提示されている物が殆ど揃っていることを確認。
- ・副木と三角巾がないが、他の物で代用できるので無理に購入しなくてもよい。

#### 【緊急事態宣言延長を受けて】

- ・県剣連 HP に小倉会長、医学委員会会長からのメッセージを掲載する。
- ・道場連盟のアンケートには「5月から稽古再開予定」と回答した道場が多かった。
- ・道場をマネジメントする立場の先生方に、急がないでほしいこと、長丁場になることを伝えなくてはならない。

#### 【次回予定】

- ・5月23日（土）15:00～ zoom 会議にて
- ・もし可能ならスーパーバイザーの水田先生、香田先生にもご参加をお願いする。